

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 外部電場により駆動するワイヤレス電解反応システムの構築

2. 個人研究者名

稲木 信介（東京工業大学物質理工学院 准教授）

3. 事後評価結果

無給電を含めたワイヤレス電解システムの構築に向けて、従来の電解とは全く異なる新たな電解技術の確立に取り組み、分割パイポラ電極、無給電式電解などのコンセプトが実証できた点は高く評価できる。

研究目標達成に向けて、研究テーマを4段階に設定した計画性、関連する研究者ならびに領域アドバイザーからの助言や協力を受ける姿勢など、研究推進について高い研究マネジメント力を有している。送液系プロセスは工業的にも多いことから、無給電式電解システムの波及分野は広い。

最終年次に SciFoS (Science for Society) により企業等を訪問して議論する機会を得て、社会実装の観点を意識して研究を進められたことも有意義であった。

さきがけとしては目標を達成したが、無給電ならではの特色を活かした展開はこれからは勝負となる。今後はものづくりのみにこだわらず、センサー等、幅広い視点でキラアアプリケーションを見つける気持ちでやってほしい。

このさきがけの経験・知見を活かし、創発的研究支援事業での益々の発展、さらには、電気化学で世界を牽引する研究者になることを大いに期待している。